



たより No.5

2017(H29).6.30

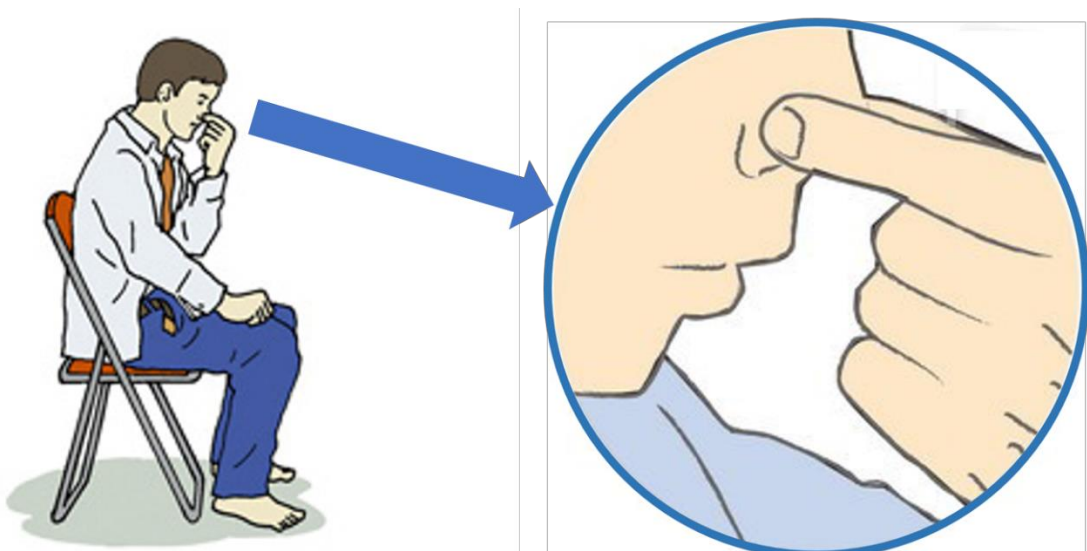
鼻血がでたら正しく対処しましょう。

自宅での対処法

鼻の中は血管が豊富でよく出血することがあります。鼻出血の約 80%はキーゼルバツハ部位という鼻の前方の血管が集中しているところからでます。止血の方法は、椅子に座り下を向いて鼻の膨らみの所を強く抑えると早く止血されます。

鼻出血があるとよくティッシュをいれてしまいがちですが、効率よく止血はできません。また上を向いたりすると血がのどに落ちてしまい、吐いてしまう原因となります。絶対にやめましょう！！

それでも 20 分以上止血されないようであれば、動脈か後方から出血している可能性があり、病院での処置が必要です。



原因

鼻出血の原因の多くはくしゃみ、鼻をかむ、鼻をこする、鼻をほじることによる鼻の刺激、咳をするなど一過性に血圧が上昇することによる場合が多く、70-85%を占めます。血をサラサラにする薬を内服している方も出血しやすくなります。

なかには、鼻・副鼻腔腫瘍、外傷、オスラー病（出血性毛細血管拡張症）、白血病といった疾患があることもあり、出血を繰り返す場合には更なる検査が必要となることもあります。

病院での止血法

①出血点が見つかった場合

- ・薬（硝酸銀）で処置 ⇒ 小血管や小児の場合
- ・電気凝固で処置 ⇒ こちらの方がより確実

いずれも、複数回処置を繰り返さなければ止血されないこともあります。また、血をサラサラにする薬を内服している場合は、薬を中止することもあります。

②出血点が見つからない場合

ガーゼ、バルーン、タンポンによる止血を行い、それでも出血がつづくようなら手術、輸血が必要となることもあり、大きな病院をご紹介させていただく場合もあります。

